

後閑小学校 保護者説明会 会議録

- 日 時 令和8年1月30日(金) 18:30 ~ 19:05
- 場 所 後閑小学校
- 参加者 保護者 5名
- 傍聴者 (オブザーバー) 市議会議員 2名

1 再編準備委員会の設置等について

事務局 資料に基づき説明

2 質疑・応答

保護者 中学校は田井小だったら宇野中で胸上小だったら東兎中に行くと思うんですけど、部活動とか中学校で何があるとか全然知らない状態なので、そういう中学校の情報も教えてくれると選択しやすいし、子どもたちにも声かけし易くなると思うので、中学校の情報ももらえたら嬉しいです。

事務局 部活動の詳細について整理して情報提供します。

保護者 うち年少の子どもと小5がいる。小5の子どもはおそらく後閑小学校で卒業出来ると思うんですけど、下の子が八浜保育園に行ってるんですけど、選択肢で胸上小学校と田井小学校しかないと思うんですけど、それ以外に八浜小学校っていう選択は出来ないのかなって、そのへんのことを伺いたいんですけど。

事務局 その場合、指定校変更があります。指定校変更をする場合は、色々な基準があります。その中の基準の1つに、「卒園した園がある学区の小学校への入学」というのがあります。例えば、八浜認定こども園を卒園し、八浜小学校へ入学したいということであれば、指定校変更の理由として認められるため、申請してもらえると対応は可能です。

保護者 お兄ちゃんも元々、八浜保育園に行ってたんですけど、現在、後閑小学校に通学していたら、宇野中と東兎中になるんですかね。それ以外に八浜中っていう選択肢もあるのですか。

事務局 小学5年生の男子の方が、後閑小学校を卒業した後、八浜中学校へ入学したいということですかね。

保護者 そうです。

事務局 その場合も、指定校変更の色々な基準があります。例えば、部活動や集団教

育などの理由があります。後閑小を卒業すると、通常であれば、東児中学校というところになりますが、例えば、別の中学校へ入学したいということであれば、一度個別にご相談いただければと思います。今のお話を伺う限り、どうしても卒業したら、そのまま指定する中学校ということになるので、それ以外、ご希望がありましたら、思いや状況というところを確認させていただいて、どういう方法でどういうふうな入学先があるかというところを話をさせていただこうと思いますので。

保護者 ありがとうございます。

保護者 胸上小のバス運行状況は、登校時には、資料に記載のある1本しかないということよろしいですか。あと、後閑地区と鉾立地区は全員まとめて、1便だけで帰るということですか。

事務局 胸上小学校方面のバスについては、朝はこの1便です。例えば、田井小学校方面は、タクシーを走らせることを検討してますけれど、それについても1便で考えています。

保護者 田井から後閑にかけての道は、県道と言ってたんですけど、それはいつ頃要望するとかっていうのは決めているんですか。

事務局 すいません。現在のところ、いつまでに要望するかというところまでは決めておりません。実際に、そういったお声があるのであれば、要望書等を作成し、県のほうに直接に働きかけをしていくなど、柔軟に対応します。

保護者 分かりました。

保護者 タクシーにしてくださってありがとうございます。タクシーの運転手さんがすごく怖いイメージが私の中ではあるので、子どもたちが乗る時に、ちょっと顔なじみになるような、毎回同じような方が迎えに来てくれるなど、タクシー会社の方をお願いとかをしてもらえたら、子どもたちも安心して登下校出来るんじゃないかなと思うので、お願いしたいです。

事務局 どこまで対応出来るかということはあるんですが、そういったお声は業者に伝えさせていただいて、できる限り、そういったことが実現出来るように、こちらから働きかけてみます。

保護者 田井小学校がタクシーになるじゃないですか。ここでタクシーの手配などは

全部、教育委員会のほうでしてくださって、この時間に来るから乗ってみたいな感じになるんですかね。胸上小も多分、下校時はタクシーなんですけど、これも時間が2便とかあったりするんですか。学童に、多分通う子がいると思うので、その時間とかもそれに乗って帰れるか。それとももう学童自体はもう親が迎えに行かないといけないのか。

事務局 学童については今後こどもみらい課との調整になりますが、学童以外の通学の時間帯については、教育委員会が業者と調整した上で、決定した内容を順次、テトル等で報告させていただき情報共有させていただきます。

事務局 胸上小に通った場合は、帰りについては、鉾立地区の児童はバスですが、同じ時間帯ぐらいでシータクの手配をさせていただきます。その時間帯については、学校の行事予定に合わせて、学校からタクシー会社へ「この時間で来てください」という連絡をする形になると思います。実際に、荘内小の永井地区では、シータクで登下校しますが、そういうやり方をさせてもらっています。

保護者 乗り遅れたり、子どもたちが時間どおり待っているのにバス来ないみたいなこととかの問題がないこと祈ってるんですけど、荘内ではそういうバス通学で、問題とかは特になく運行出来てるんですか。

事務局 乗り遅れについては、大変申し訳ないんですけど、保護者の方で対応をお願いするところです。バスが事故とか渋滞に巻き込まれて決まった時間に来ないという状況の場合は、恐らく、バス会社を通じてまずは、教育委員会や学校の方に連絡が入る流れになると思います。それをもって、保護者の方にテトルを使って配信させていただくようになると思っています。運行する前までには、事故とか緊急事態が発生した時には、連絡網や連絡ルートのようなものは、きちんとお示ししたいと考えております。

保護者 後閑小の中で、通級に通ってる子がいると思うんですけど、今は、胸上小のほうに保護者が連れて行ってっていう感じなんですけど、胸上小に通う子は、そのまま学校で指導が受けれると思うんですけど、もし、田井小に行った場合は、今と同じような感じになるんですよね。

事務局 通級指導教室の設置は、胸上小と宇野小と荘内小の3校になります。そのため3校に在学すれば、自校通級ということで、そのままその学校の通級指導教室に入れます。それ以外の学校については、他校通級ということで、保護者の方が3校のいずれかの通級指導教室に連れて行っていただいて、そこ

を利用するということになります。

保護者 田井小はどこに通うようになってるんですかね。

事務局 保護者の事情にもよりますが、基本的には宇野小学校が多い状況です。

保護者 じゃあもし、田井小に行ったとして、宇野小の通級に行ってる子が多かったとしても、元々胸上小のほうでお世話になってるようだったら、田井小に行きながらも胸上小の通級に通うことは出来るんですかね。

事務局 そういうご希望があるということであれば、また、相談させてください。

保護者 分かりました。ありがとうございます。

保護者 タクシーの場合、帰りが1人だった場合、家の前で降ろしてくれたりするんですか。バス停に降りるって感じなんですか。

事務局 原則、朝と同じところで降ろすという形になります。

保護者 先生が「この子はここで降りますよ」というのを伝えてくれて、そこまで連れて行ってくれるのか。または、子どもがタクシーの運転手さんに、「私はここまでのバス停をお願いします」とって伝えなきゃいけないのか。

事務局 タクシーに乗る時に、定期券みたいな物を発行しないといけないと考えています。それにどこから乗って田井小まで通学することがわかるように示させてもらって、その定期券を運転手に見せるような形が良いのではないかと考えています。

保護者 災害時とかって、他の学校に避難することは少ないと思っているんですけど、家に帰らせるのか、学校で待機させるのか、遠い場合は家まで送るとか、こういった対応を考えていますか。

事務局 災害時の対応については状況によると思います。保護者の方に迎えに来ていただける状況であればお願いしますが、それが難しく、危険だということであれば、学校で判断をすることになります。いずれにしても、保護者の方に連絡を入れるということは、どちらの学校に通ったとしても、同じになります。

事務局 今後、またこちらが気づききれない部分について、ご意見やご要望等を寄せていただければ、できる限りの対応をさせていただこうと考えています。今、ここで思いつかないこともあると思います。1年間程度ありますので、できるだけ早い段階でそういったご要望とかがいただければ、随時、対応させていただいて、その対応状況に関しましても、テトルなどで情報提供させていただき、みなさまが安心していただけるよう再編を進めていきたいと考えています。電話でも良いですし、学校を通じても構いませんので、声を寄せていただき、一定程度、方向性が見えた段階で情報提供をさせていただきたいと考えております。

教育次長 みなさん、本日は、遅い時間までありがとうございます。今日、お昼過ぎから、後閑小学区内の地域住民の方にも、後閑小学校の閉校に関する説明会を開催させていただきました。10名程度の方々にお集まりをいただき、説明をさせていただきました。どういったお声が出たかといいますと、「やはり、伝統ある後閑小学校、なくなったら寂しい」、「今の子どもたちの状況では、やむを得ない。」そういったお声を聞きました。一方で、やはり、地域住民の方は、この学校に対する思いもありまして、「できたら、地域住民の拠点として残してほしい」そういったお声をいくつかいただきました。そうした中で、本音としては、みなさん、おおむねやむを得ないというご理解をいただいたところです。さて、人口減少社会を迎えまして、今、玉野市で出生数が年間200人前後になっている状況です。そういった状況はご承知のところかと思えます。そういった中で、後閑小学校が今年度から、教頭が未配置になって、校長先生には一生懸命頑張ってくださいましたが、他の学校と比べて、学校運営とか児童のみなさんに対する指導。全ての点で行き届いてるか、そうではないと思います。そういうことで、教育委員会としても、全ての学校の教育の質を確保したい、というところで、令和8年度末をもって、後閑小学校の閉校の手続きを進めさせていただきたいと考えております。同時に、引き続き、今日ご意見のありました通学路の確保、そして通学手段の確保、そういった支援は継続して、令和9年4月までに順次進めていきたいと考えております。先ほどご要望いただいた、県への要望もしっかり進めていきたいと考えています。事前の小学校間の交流、特別支援学級の児童のみなさんも含めて、新しい学校の学習内容との切れ目のない支援。これも確実に進めていきたいと考えております。今後は、いつでも気軽に教育委員会もしくは、校長先生のほうにお伝えいただきまして、みなさま方と共にしっかり移行支援を進めさせていただきたいと考えておりますので、何卒、ご了解いただきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

